



## 千 ドッジボール全国大会への出場権を獲得しました 畑メッツスポーツ少年団

第14回春の全国小学生ドッジボール選手権全国大会秋田県予選が2月6日、秋田市立体育館で開かれ、千畑メッツスポーツ少年団(千畑南小学校)がみごと準優勝を果たし、3月21日に東京体育館で開かれる全国大会への出場権を獲得しました。

同チームの選手と関係者17人は2月18日、役場六郷庁舎を訪れ、「県大会の決勝では残念ながら敗れてしまったが、全国大会に出場できるのでとてもうれしい。全国大会に行って美郷町を宣伝してきます」と松田町長に成績を報告。「練習の成果を思う存分発揮して、頑張ってきてください」と激励を受けました。

全国大会での活躍を期待しています。

## 千 6カ月ぶりの再会と雪国の冬を楽しむ 代田町との小学生交流inみさと

茨城県千代田町の小学校4、5年生63人が、2月10日から3日間本町を訪れ、千畑地区の小学生4、5年生と交流。千畑スキー場でのスキー体験をはじめ、雪を使ったゲーム、もちつきなどを通して楽しみました。

同町との交流は、千畑地区で昭和62年から行われてきているもので、鎌倉時代から約400年にわたって旧千畑町を治め、国替えとなった江戸時代以降、現在の茨城県千代田町周辺を治めた本堂公が縁となっています。

昨年8月には、千畑地区の小学生41人が千代田町を訪れ交流しており、今回は6カ月ぶりの再会。友情の輪がさらに大きくなりました。



## 台 友好交流の提携を結び、今後の交流について話し合いました 台湾・花蓮県瑞穂郷の関係者15人が来町

台湾の花蓮県瑞穂郷の郷長をはじめとする関係者15人が、2月12日から5日間本町を訪れ、合併記念式典に出席。本町との友好交流の提携を結びました。

瑞穂郷との交流は、旧六郷町で平成13年から行われてきているもので、同年に行われたワールドゲームズのコーフボール競技が縁となっています。

関係者は、式典への出席のほかスキー場や道の駅などの町内施設を視察するとともに、六郷のカマクラ行事も見学。初めて見る雪に大喜びしていました。

また、今後の交流についての懇談も行われ、観光交流や学生交流、文化・芸術交流などについて検討していくことにしました。

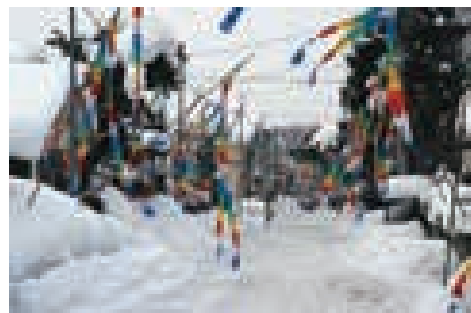
ことしも盛大に行われました

# 六郷のカマクラ

国の重要無形民俗文化財に指定されている「六郷のカマクラ」が、2月11日から5日間にわたって六郷地区で行われました。

美郷町となって初めて行われたことしのカマクラ行事も、11日からの天筆まつりを皮切りに、雪宮・鳥追い小屋コンクール、もちつきと続き、最終日(15日)には一連の行事の最後を飾る「竹うち」が行われ、厳寒の中壮絶な打ち合いを繰り広げました。

なお、「竹うち」の勝者は南軍で、ことしは米の値が上がるという結果になりました。



「雪宮・鳥追い小屋  
コンクール」の結果

- <最優秀賞> 旭町町内会
- <優 秀 賞> 大町町内会、本道町町内会
- <努 力 賞> 新町町内会、米町町内会、西高方町町内会、琴平町内会、上鍵田町内会



最優秀賞に輝いた旭町町内会の雪宮

町内の小中学校でも天筆の掲揚やカマクラ集会などが行われました(写真は、六郷小学校のカマクラ集会)



町内ごとに行われた「力もち」のもちつき



燃えさかる「松ニオ」(正月の松かざりなどを集めて作ったもの)を挟んで激しい打ち合いが行われた竹うち